

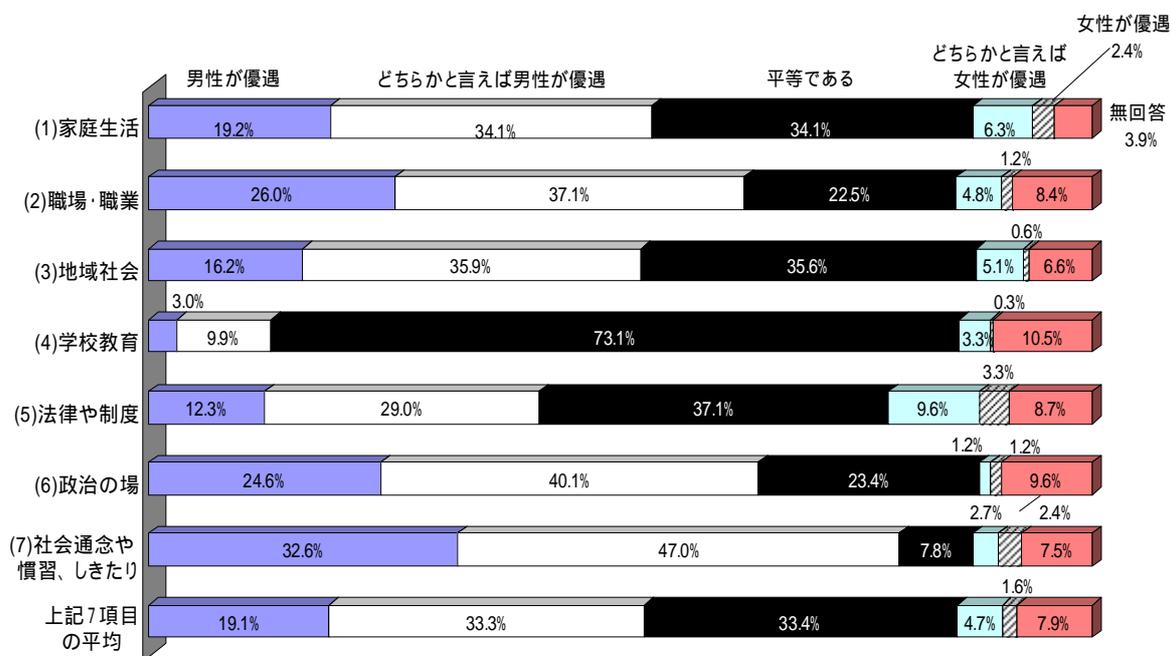
分析結果

男女平等に関する価値観について

問1 次の項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか？

- (1) 家庭生活で
- (2) 職場や職業で
- (3) 地域社会で
- (4) 学校教育で
- (5) 法律や制度の上で
- (6) 政治の場で
- (7) 社会通念や慣習、しきたりで

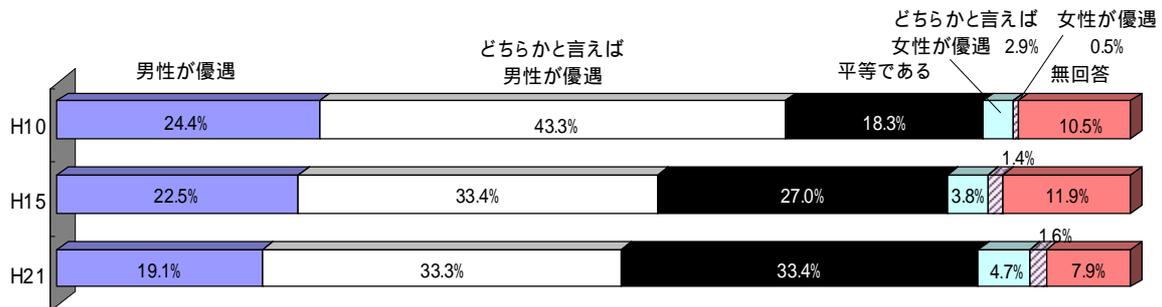
男性が優遇されている
 どちらかと言えば男性が優遇
 平等である
 どちらかと言えば女性が優遇
 女性が優遇されている



全体 n=334 (男性 n=139, 女性 n=192, 無回答 n=3)

一番平等と感じられているのは「学校教育」で、73.1%の方が平等と感じています。
 男性優遇感（合計）は、5割以上の方が7項目中5項目（「家庭生活」「職場・職業」「地域社会」「政治の場」「社会通念や慣習、しきたり」）で感じています。特に「社会通念や慣習、しきたり」では79.6%と、8割の方が男性優遇感を感じています。
 女性優遇感が高いのは「法律や制度」で12.9%と唯一1割台。「平等感」の高さ、「男性優遇感」の低さも「学校教育」に次いでいます。

【意識全体の経年変化（7項目の平均値の推移）】



平等感を感じている人が増え続けています。平成 10 年度調査時には、「男女の地位は平等」と感じていたのは 18.3%と 2 人に 1 人の割合だったのが、今回調査では 33.4%と 3 人に 1 人になりました。また、男性が優遇されていると感じている人の割合は 67.7%から 52.4%に大きく下がり、女性が優遇されていると感じる人は 3.4%から 6.3%と微増しています。

【平等であると感じる割合の経年変化】

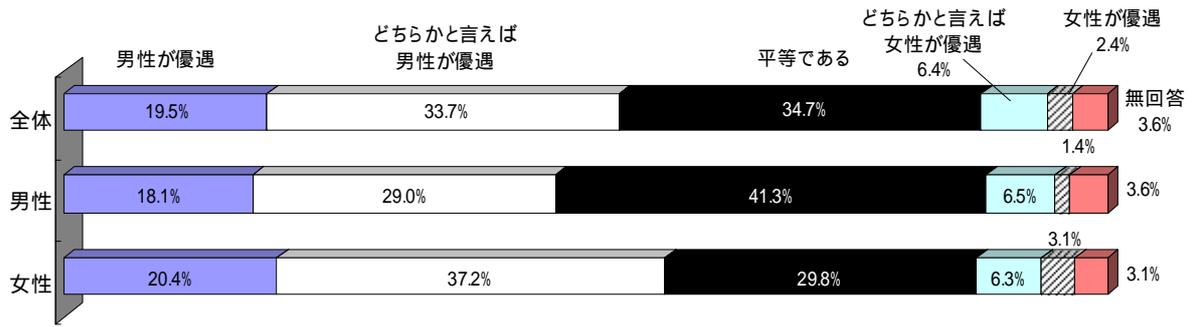
	H10		H15		H21	
	順位	割合	順位	割合	順位	割合
(1)家庭生活	3	23.2%	3	24.9%	4	34.1%
(2)職場・職業	6	12.6%	5	19.1%	6	22.5%
(3)地域社会	4	19.9%	4	24.6%	3	35.6%
(4)学校教育	(1)	—	1	62.1%	1	73.1%
(5)法律や制度	2	27.0%	2	29.1%	2	37.1%
(6)政治の場	5	18.4%	6	17.6%	5	23.4%
(7)社会通念や慣習、しきたり	7	8.8%	7	11.3%	7	7.8%

ほとんどの項目で平等感があがっており、平成 10 年度調査時は 10%～20%台の数値だったのが、今回は 20～30%台に増加しました（「学校」除く）。

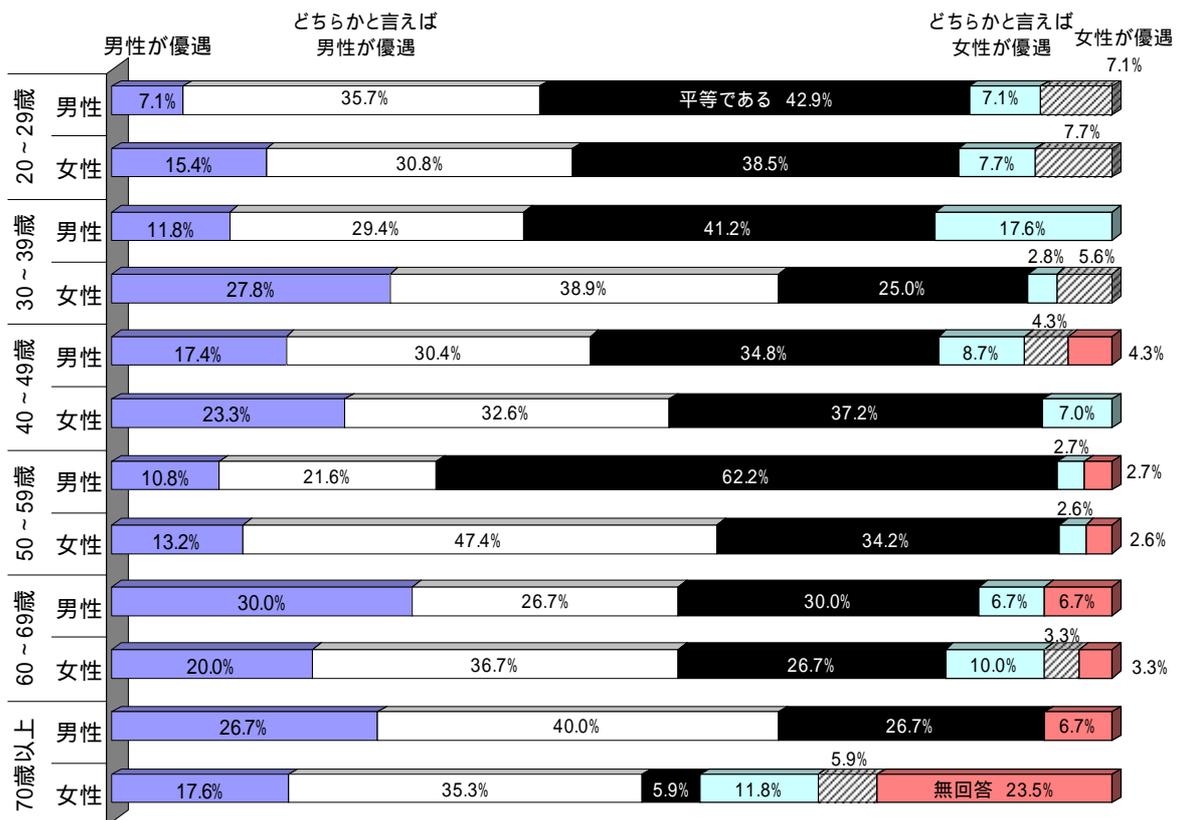
特に高い平等感が感じられている「学校教育」は、更に割合が増え今回は 73.1%の人が感じています。次に 30%台で「法律や制度」「地域社会」「家庭生活」と続きます。「地域社会」での平等感、7項目の中で一番大きく伸びています。続く「政治の場」「職場・職業」は 20%に落ち、特に「政治の場」は低い伸びです。

最下位の「社会通念や慣習、しきたり」になると、平等感を感じる割合は大変低くなり、更に 7項目中において唯一減少傾向にあります。今回は平成 10 年度調査の数値も下回って 7.8%になりました。

(1) 家庭生活で



女性で平等と感じている割合は、男性 41.3%に比べ 29.8%と少なく、一方男性優遇感（合計）は男性 47.1%に対し女性は 57.6%と高くなっていて、男性の方が平等感が強く、女性は男性優遇感を強く感じている傾向があります。

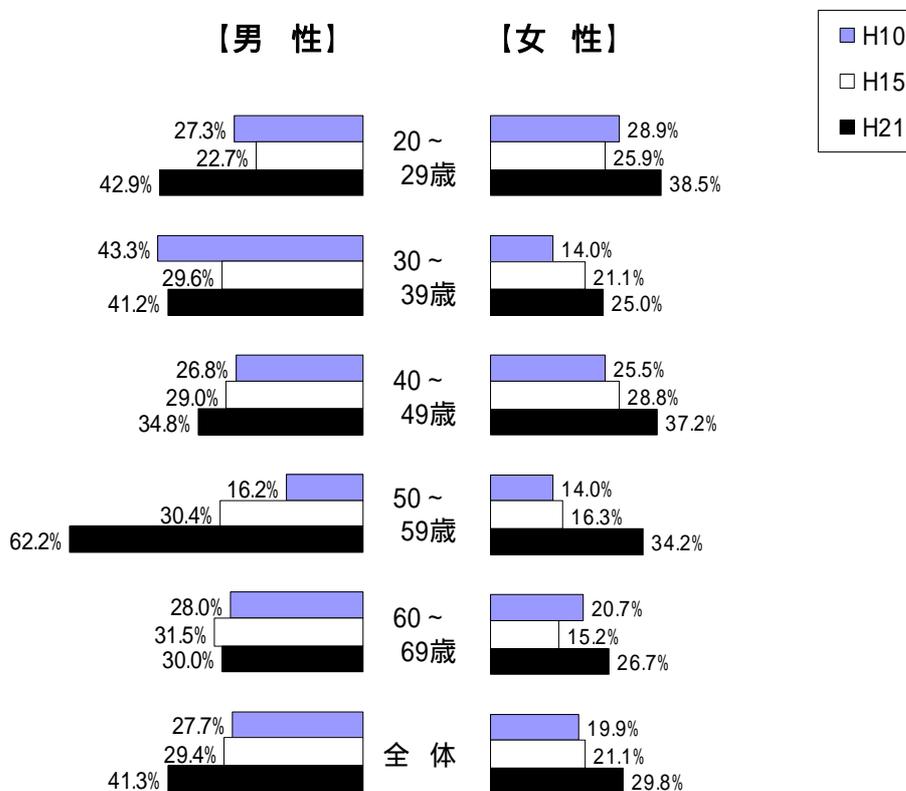


年代	18・19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	合計(人)
男性	2	14	17	23	37	30	15	138
女性	1	26	36	43	38	30	17	191
全体	3	40	53	66	75	60	32	329

20、40、60代は、平等感、優遇感とも男女の割合がほぼ同じという結果が出ています。一方30、50、70代は男女間に意識の差が見られます。平等感は男性の方が女性に比べて高く、特に50代は男性が62.2%と全年代の中で一番平等感を感じている割合が大きく、一方女性の割合は34.2%で、大きく差が開いています。

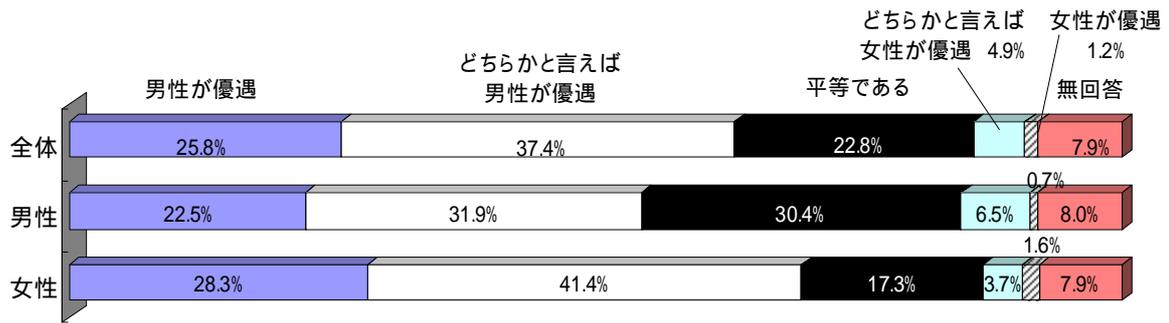
また、男性優遇感を感じている割合が特に大きいのは30代、50代の女性で66.7%と60.6%。また70代男性は、男性優遇感を感じている方が66.7%と高いのに対し、女性優遇感を感じている方は0%と、男性優遇感の強い世代となっています。

【平等であると感じる割合の経年比較】

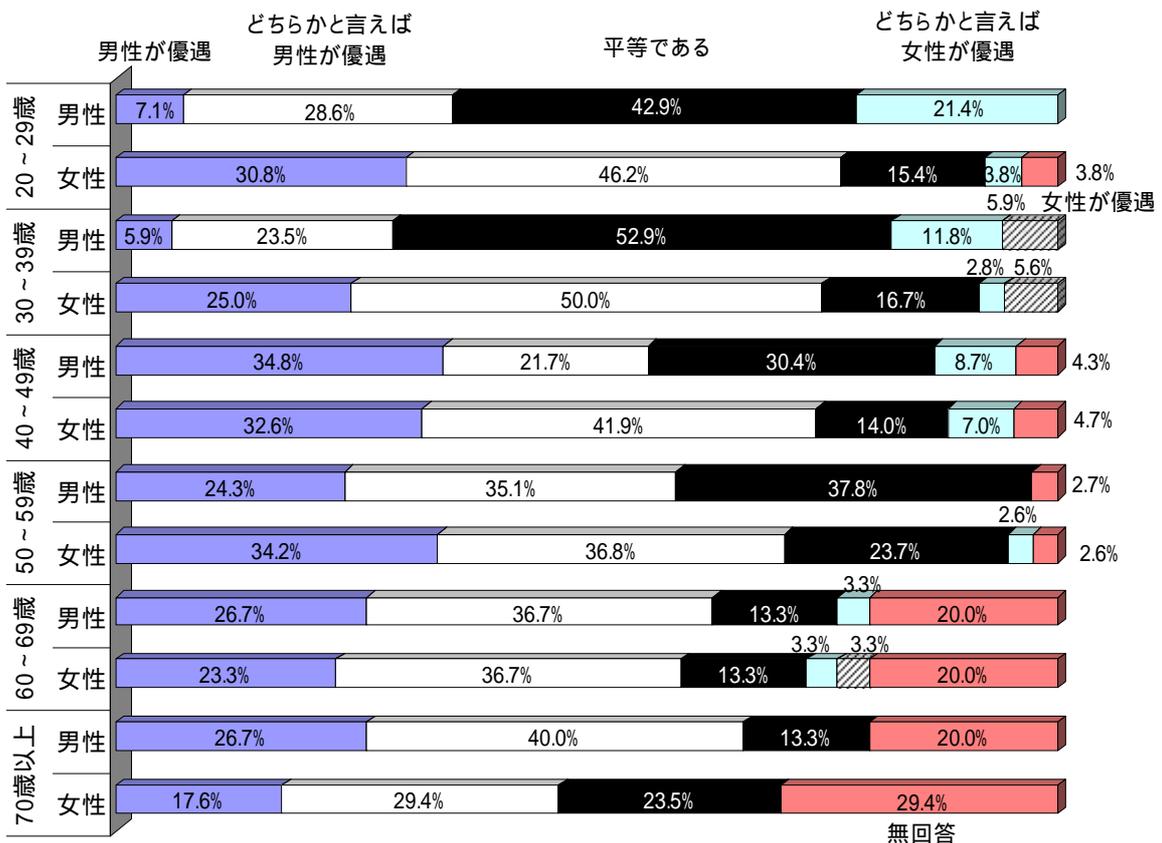


全体的に伸びています。女性より男性の方が平等感を感じている割合は3回の調査を通じて常に高く、男女の割合の差は全体で見ると1割程度あります。全3回の調査を通じて男女の意識の差が少ないのは20代と40代です。一方、差が開いているのは30代と50代で、今回調査では特に50代が男性62.2%に対し女性34.2%と男女間の開きが目立ちます。

(2) 職場・職業で

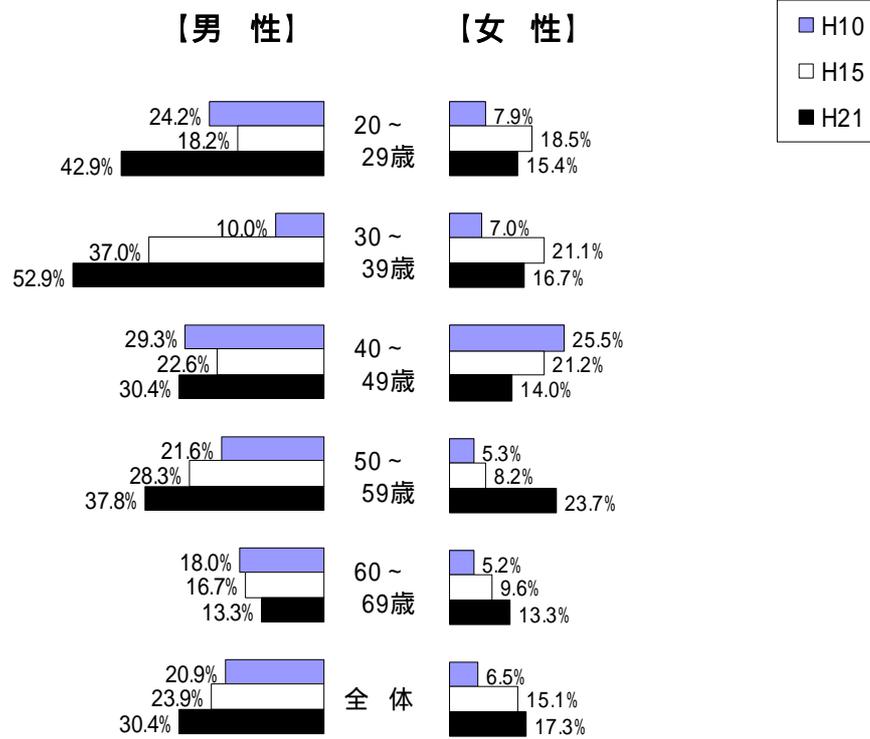


男性優遇感が高いこの項目では、女性は 69.7%と約 7 割、男性も 54.4%と半数以上が男性優遇感を感じています。一方平等感を感じているのは、女性 17.3%に対し男性 30.4%と男性の方が多く、男性の方が平等感を、女性の方が男性優遇感を感じている傾向がでています。



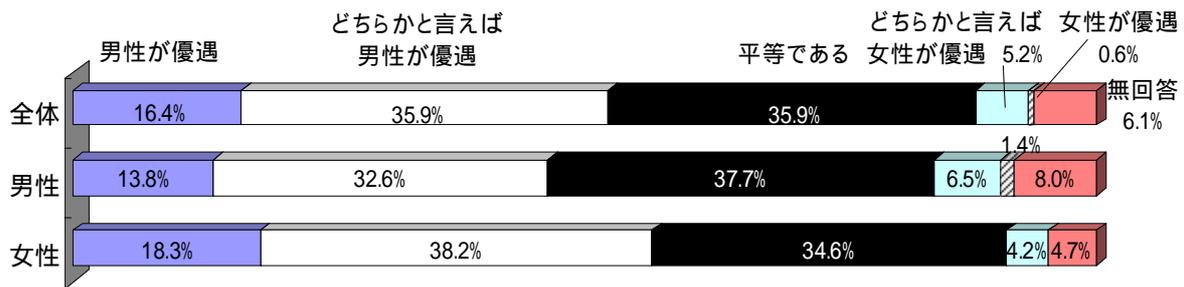
20、30代で、男女の平等感の差が大きく開いています。この年代は男性の平等感が 42.9%、52.9%と、他の世代に比べて高い一方、同世代の女性は 15.4%、16.7%と低く、男性優遇感は 77.0%、75.0%と約 8 割の人が感じています。

【平等であると感じる割合の経年比較】

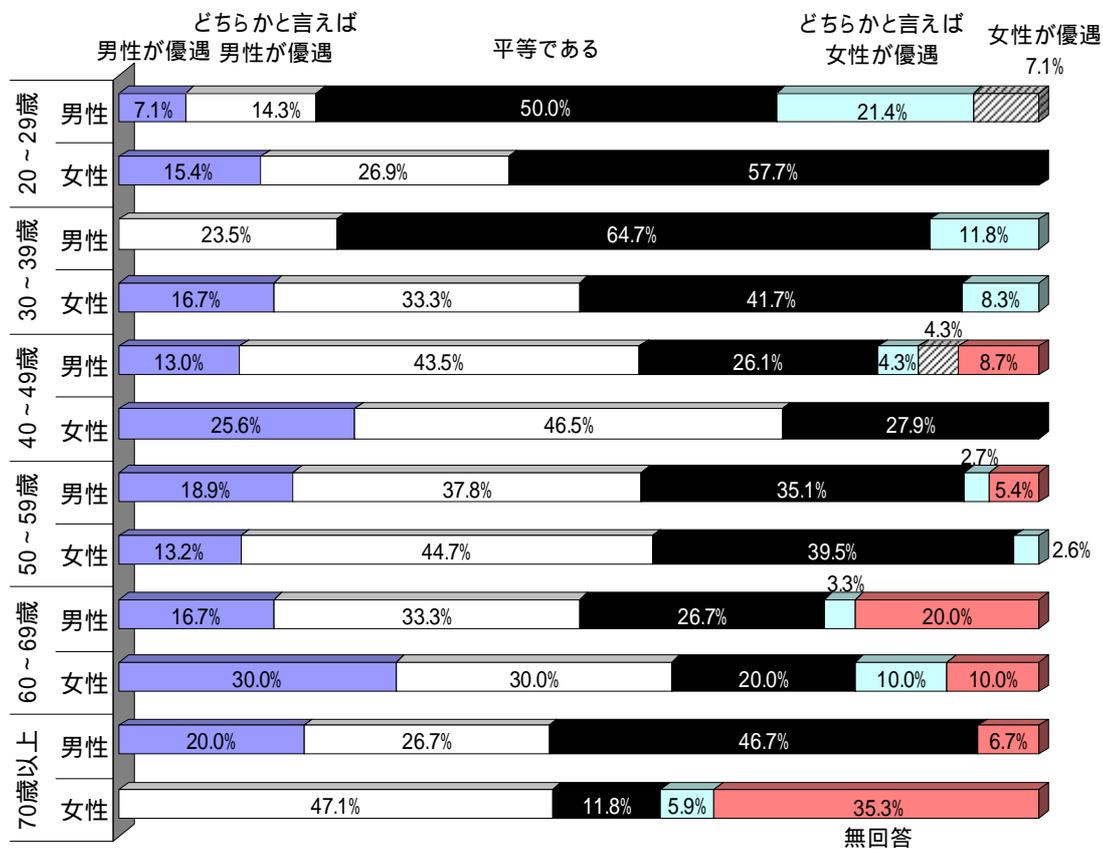


全体としては増加していますが、実際に仕事をしている割合の高い世代（20～50代）には「男性は増加」「女性は減少」の傾向が見られ、20、30代女性は15年度調査で上がった数値が、今回は下がり、40代女性は平成10年度調査時から下がり続けています。

(3) 地域社会で



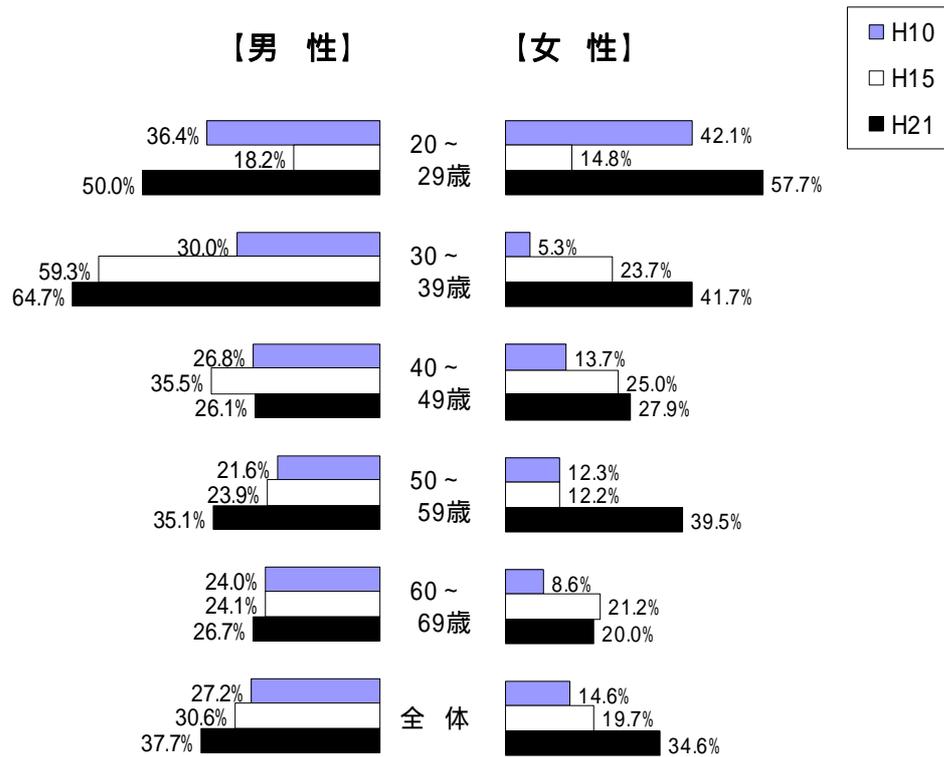
男女の意識のあり方はほぼ同じ割合です。5割前後の方が男性優遇感を、3, 4割の方が平等だと感じています。



20、30代は平等感が高く、特に30代男性は64.7%と高いのに加え、男性優遇感は23.5%と他の年代に比べて低くなっており、平等感が高く感じられている世代です。また20代は男性50.0%女性57.7%と、男女とも平等感が高くなっていますが、女性優遇感を男性の28.5%が感じているのに対し、同年代の女性で感じている人はいませんでした。

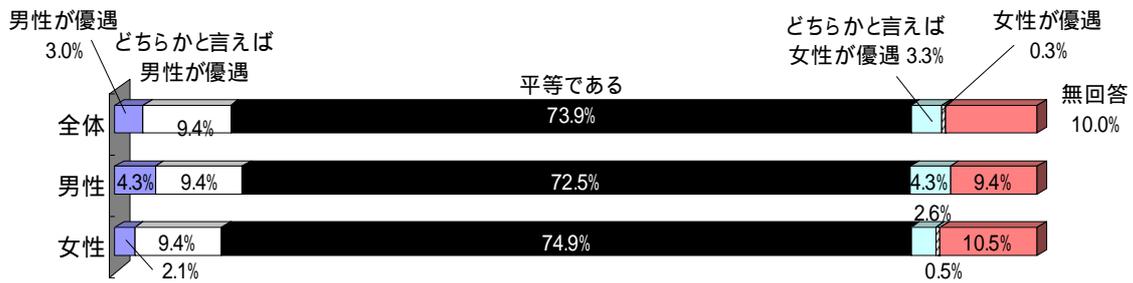
ほとんどの年代で女性の方が男性よりも男性優遇感を感じていますが、特に40代女性は72.1%と全年代の中で一番男性が優遇されていると感じています。

【平等であると感じる割合の経年比較】

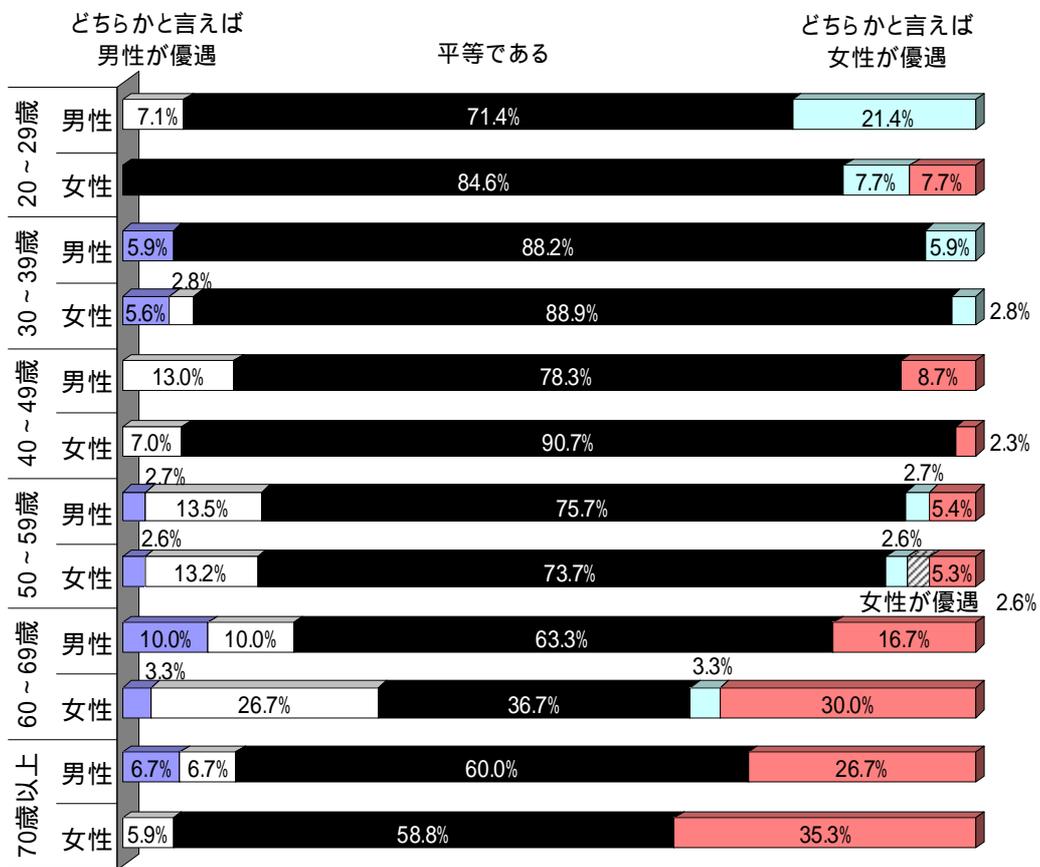


全体的に増加しています。平成10年度調査では30代、60代の女性は1割に満たなく、最高で20代男性の36.4%だったのが、今回は最低で60代女性の20.0%、最高は30代男性の64.7%で、全体では4割近くになっています。特に20、30代の若い層は男女とも目覚ましい伸びを示しています。

(4) 学校教育で



男女ともに高い割合で平等感を感じています。

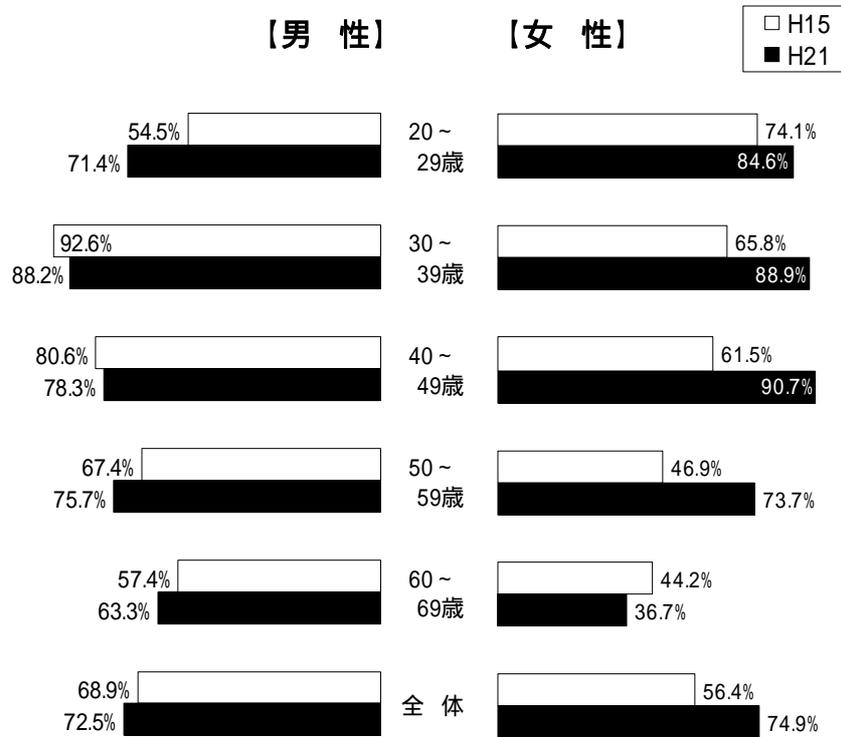


20、30、40代の女性が特に平等感を感じており、特に40代は90.7%の人が「平等である」と回答しています。また20代は男女とも、女性優遇感の割合が男性優遇感の割合を上回っています（男性優遇感：男性 7.1% 女性 0% 女性優遇感：男性 21.4% 女性 15.4%）

一方、50代を境に平等と評価する割合は減っていき、特に60代の女性は平等感が36.7%と4割弱しか感じておらず、男性優遇感が30.0%と3割を占めるなど、不平等感が強くなっています。

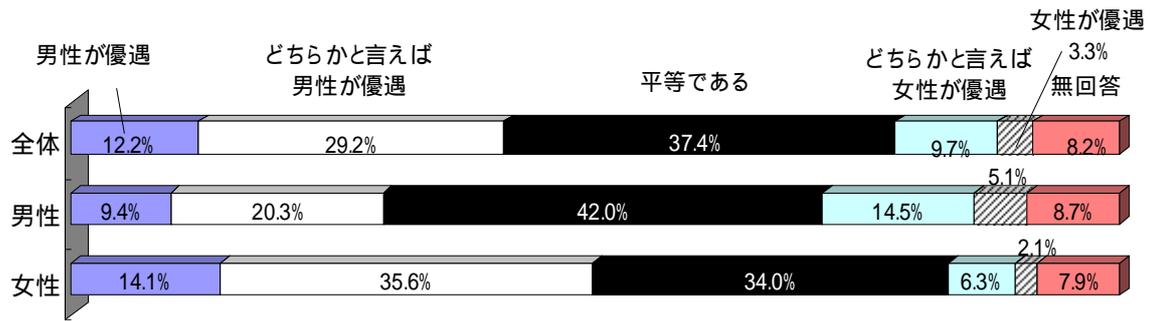
【平等であると感じる割合の経年比較】

「学校教育」の項目は、H15 年度調査から追加

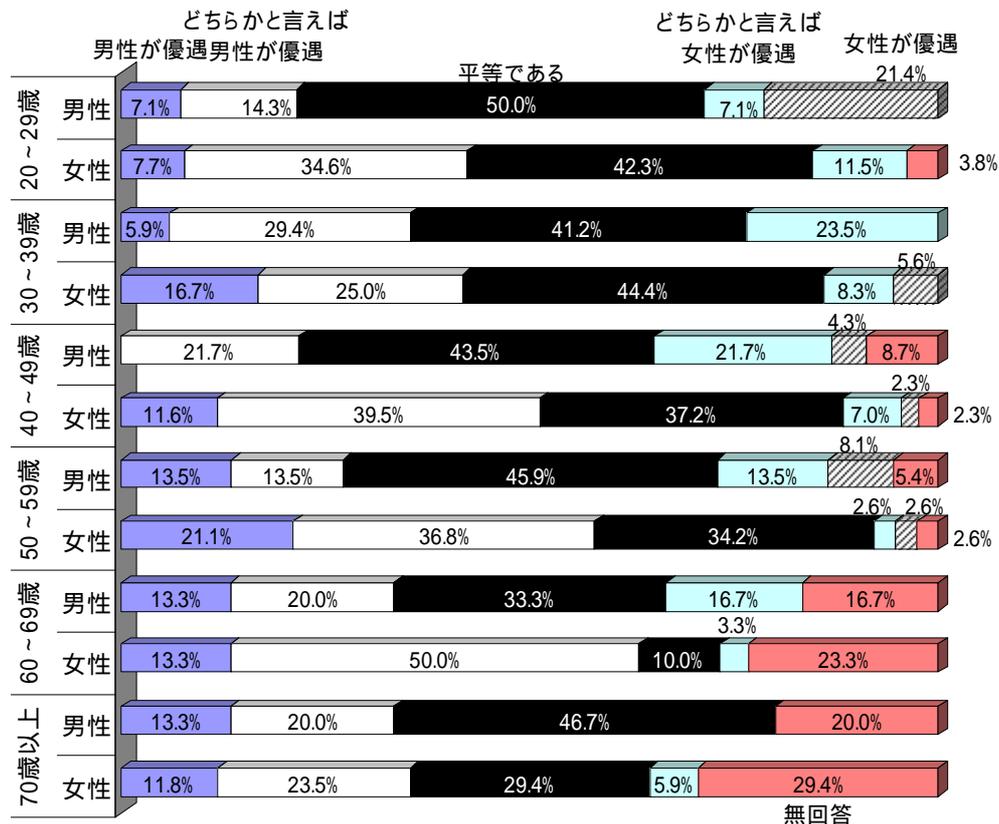


全体的に増加しています。女性の伸びが大きく、特に 30、40 代女性は、平成 15 年度調査では 65.8%、61.5% だったのが、それぞれ 88.9%、90.7% に伸びました。減少したのは 30、40 代男性と 60 代女性で、特に 60 代女性は 36.7% と唯一の 3 割代に減少しました。

(5) 法律や制度の上で



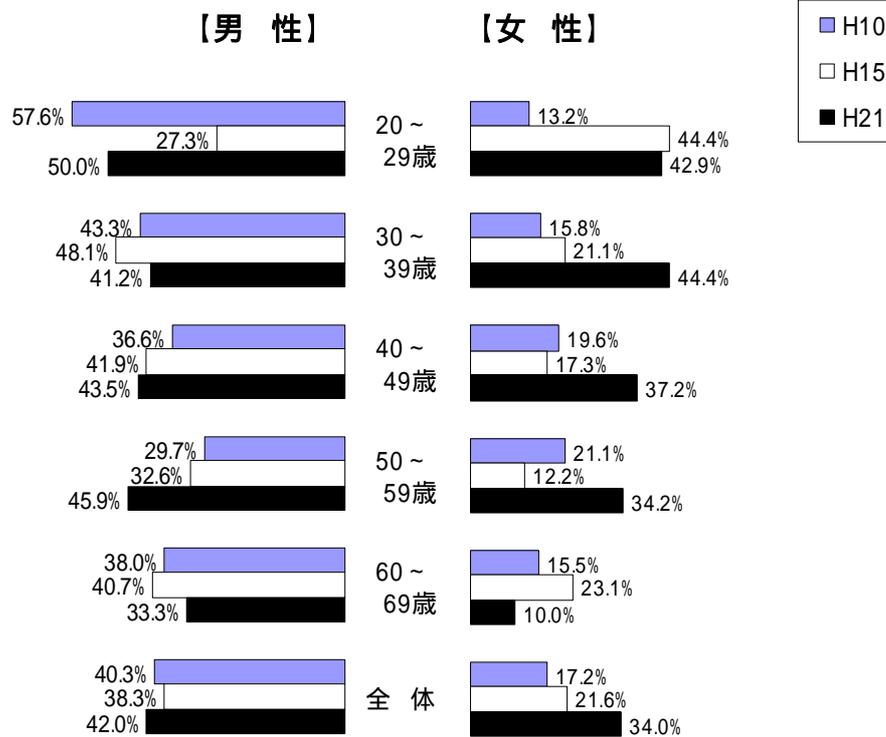
男女の意識の差が大きい分野です。男性は女性優遇感を強く感じており、女性 8.4% に対し 19.6% と約 2 割が感じています。一方、女性は男性優遇感を強く感じていて、男性 29.7% に対し女性 49.7% と多く、2 人に 1 人が感じています。



20、40、50、60 代では、男性優遇感を感じている女性が多く、男性との意識の差が現れています。特に 50 代は女性 57.9% と 2 人に 1 人が感じています。

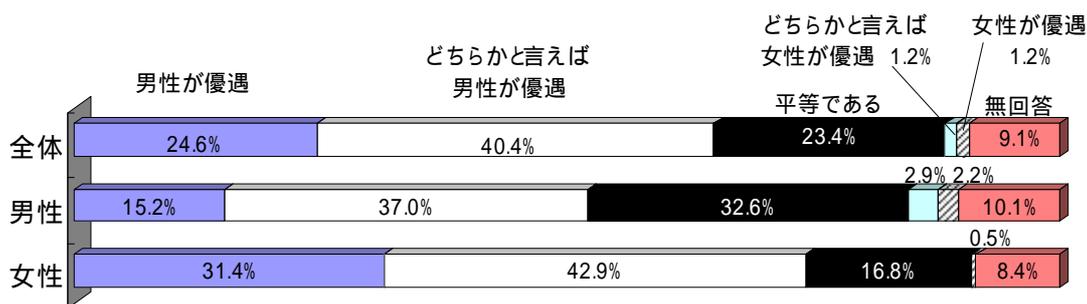
女性優遇感とは 70 代男性を除いた全ての年代で回答がりましたが、20 代以外では男性の方が女性より割合が高く、特に 30 代は男性 23.5% と全ての年代の中で一番多くの割合が女性優遇感を感じており、対して同年代の女性の割合は 8.3% と男女差も一番大きくなっています。

【平等であると感じる割合の経年比較】

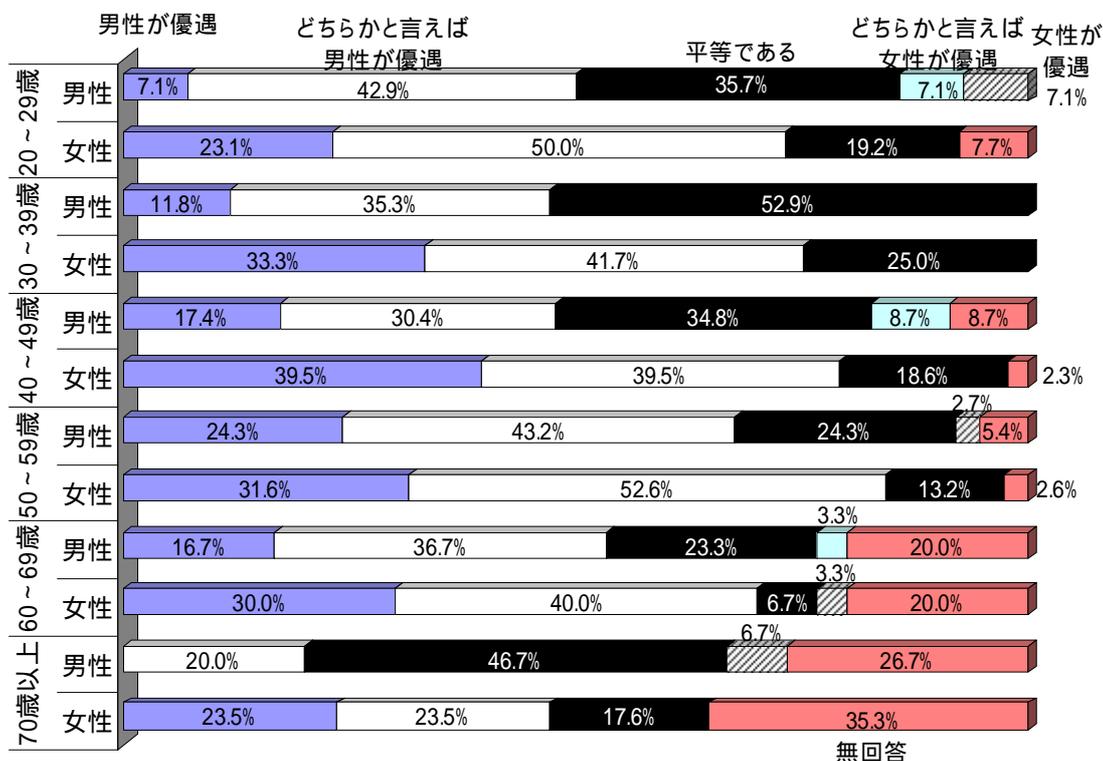


男女とも増加しています。全体では依然として女性の方が男性より平等感が低いものの、男性の数値が50代を除いて横ばい傾向にあるのに比べ、女性は大きく伸び、平成10年度調査時には20代の男性57.6%に対し女性13.2%など、男性よりずっと低かった女性の数値が、今回は30代の男性41.2%に対し女性44.4%など、男性が女性を上回った世代もあります。一方、60歳代女性は前々回から15.5%、23.1%、そして今回は10.0%と減少し低い数値のままです。

(6) 政治の場で



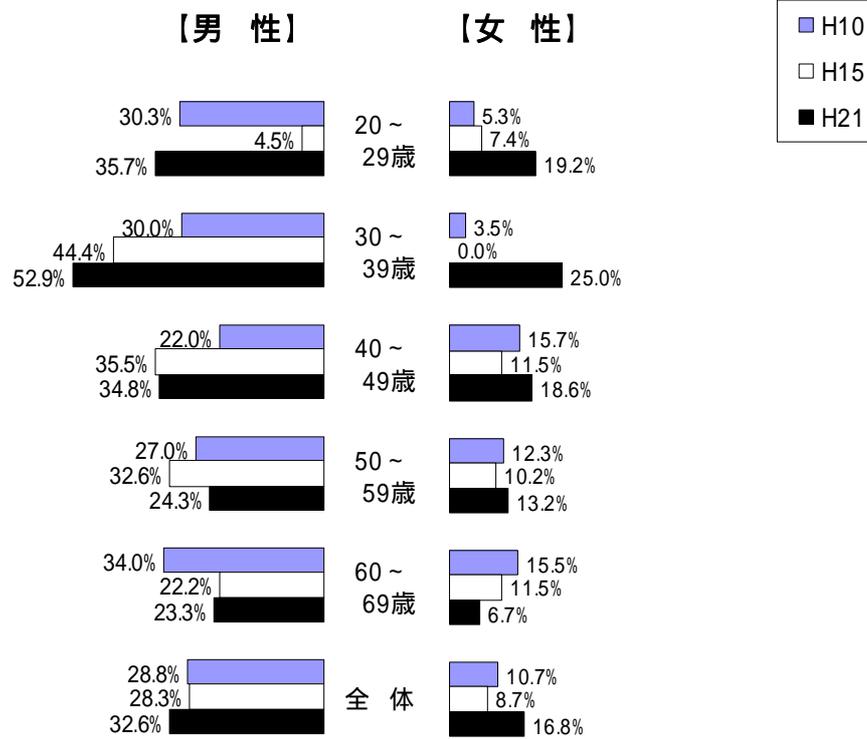
男女間の意識の差が大きく、男性に比べ女性が強く男性湯偶感を感じている項目です。男性優遇感を男性の52.2%が感じているのに対し女性は74.3%と、7割以上の女性が男が優遇されていると感じています。また、平等感も男性は32.6%に対して女性は16.8%、女性優遇感も男性は5.1%の人が感じていましたが、女性は0.5%しかいませんでした。



どの世代も男女間の意識の差が大きくなっています。中でも20、30、40代は、男性が平等もしくは女性優遇と感じている割合が高いのに対し、同年代の女性の男性優遇感が高くなっています。特に30代男性は全世代の中で一番平等感が高く、52.9%が平等と感じているのに対し、女性は25.0%と半分の割合です。

男性優遇感が一番高い世代は50代で、女性84.2%男性67.5%と、男女とも男性が優遇されていると感じている人が全年代の中で一番多い割合です。

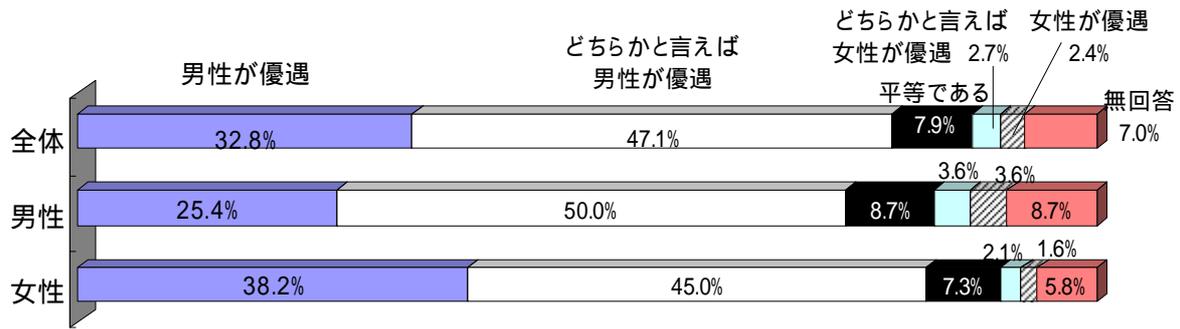
【平等であると感じる割合の経年比較】



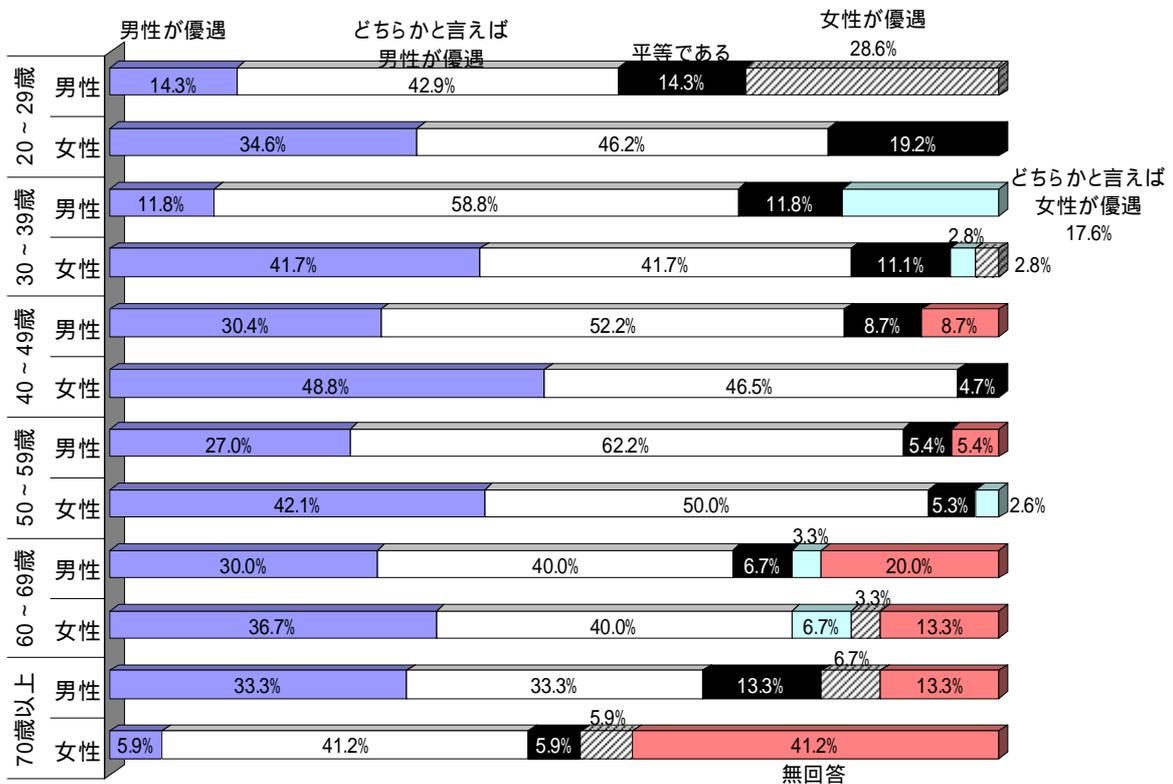
平成 15 年度調査では減少傾向にあった数値が今回は概ね増加しました。特に 30 代は男女とも大きく伸び、男性 52.9% 女性 25.0% と他の年代よりも高い数値になっています。

一方、女性は 1 割台の数値が目立ち、60 代女性は今回調査で 6.7% と 1 割を割る結果が出ています。

(7) 社会通念や慣習、しきたりで



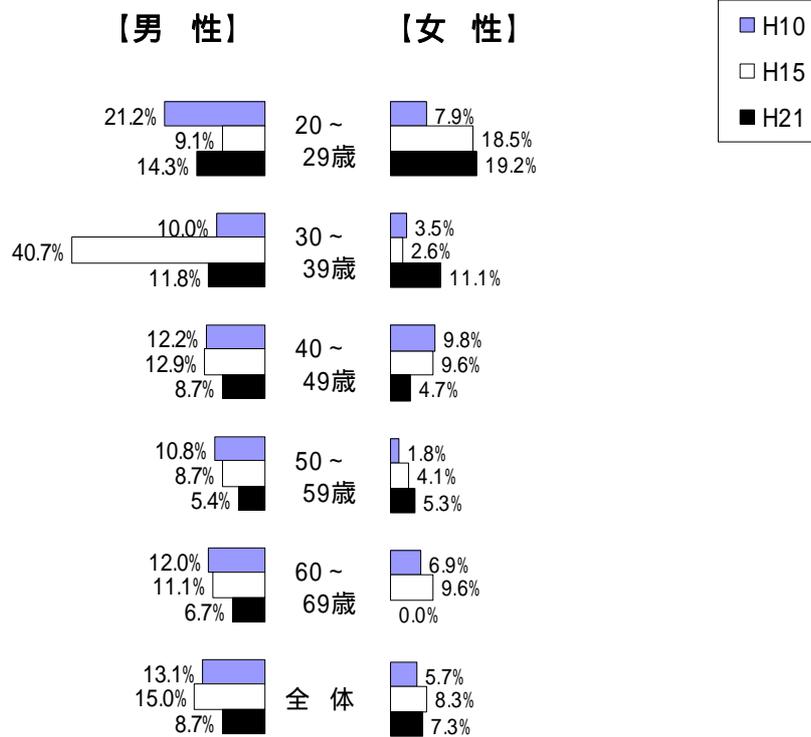
平等感が男性 8.7% 女性 7.3% と男女ともに大変低く、一方男性優遇感は男性 75.4% 女性 83.2% と同様に男女とも大変高い、不平等感が強く感じられている分野です。



全世代で男性優遇感を感じている割合が極めて高く、特に 50 代は男性 89.2% 女性 92.1% と男女とも約 9 割が男性優遇感を感じています。

一方、20, 30 代といった若い世代は平等感を感じている割合が他の年代に比べて高く、特に 20 代は男性 14.3% 女性 19.2% が感じています。また 20 代男性は女性優遇感を感じている割合も高く、28.6% と全年代で一番多くなっていますが、同年代の女性は 0% で女性が優遇されていると感じている人はいなく、男女間の意識の差が見られます。

【平等であると感じる割合の経年比較】



全3回の調査を通じて全体に数値が低く、男女とも前回微増したのが今回は減少しています。今回調査ではほとんどの年代・性別で1割に満たない数値になり、特に60代女性では平等感を感じていると回答した人はいませんでした。

その中で、20、30代女性は伸びており、特に20代は19.2%が平等感を感じていて、全体の中では突出して高く目立っています。